

こちら校長室

こころ
心

令和5年度



令和5年 12月 11日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

家庭教育学級へのお誘い ～身近なものから学ぶ～

2023年も残り少なくなってきました。クリスマスのイルミネーションが町を彩っています。なんだか季節に合わない気温のような…朝晩だけでなく日ごとの寒暖の差もあり、体調を崩している子もいますので、保護者・地域の皆様も充分にご自愛ください。

さて、昨年度は教頭としてさせていただいた「家庭教育学級」ですが、今年度も12月21日（10時～11時半）に開催させていただくことになりました。昨年度は良い「しつもん」について、しつもんメンタルトレーニングの手法を使った体験を中心に40名～50名の方々と実施しています。

今回は「しつもん」だけでなく、身近な「漢字」や「絵本」の話もします。

内容は大きく2つ。1つ目は「見方考え方を変えたら、漢字は心を耕すツールになる」こと。例えば「苦」という漢字。くさかんむりは困難をあらわしています。その困難に立ち向かって、見方考え方を変えながら（古いという漢字を右に90度回転）困難（くさかんむり）がなくなっていくと何と「叶」という字になります。何かに挑戦しているときや自分が変わらないといけないときに必ず「苦しい」ときがきます。苦しくなったときはきっと「叶う」前兆なんだと気づき、見方考え方を変えながら、諦めず進むことができます。それを漢字が教えてくれるのです。沖縄にも「なんくるないさ（なんとかなるさ）」という方言がありますが、「まくとぅーそーけー（誠のこををしていれば）」という言葉が前にくるそうです。何もしなければもちろん道は開けません。というような話を「しつもん」に答えながら楽しんで進められたらと思います。

2つ目は絵本についてです。「何歳になっても絵本から感じる教育的魅力に気づく」ことをテーマに私の拙い読み聞かせ（選んでいる絵本はとても素敵です。）を通して絵本の良さを体験していただくなど通常の講演ではしないことにも挑戦します。

盛りだくさん（3講演分を凝縮しますので…）にはなりますが、何か一つでも自分や子どももの成長につながればと思い、丁寧に進めさせていただきます。（私は毎回話ながら成長しています。）

昨年度はZoomでの参加もあったのですが、今回はリアル参加のみでお願いいたします。（当日限定のワークシートを参加のお土産に準備します。）まだ参加の申込みはできますので、来年のスタートに縁を起こせたらと思います。迷われている方がいらっしゃいましたら2024年に向けて私と共に一歩進んでみませんか？どうぞよろしくお願いいたします。

2024年楽しく進むためにどんな準備ができますか？